

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 古い貴重な写真8枚（東京天文台100周年記念誌資料2-1-8）**

東京天文台100周年記念誌資料の整理をしており、次々と資料について記事を書いている。今回は東京天文台100周年記念誌資料—その2—のダンボール箱の菓子箱に入った多数の写真の一部で、アーカイブ新聞第349号のリストでは、

1) 紙箱入り写真

8. ブローニ版ネガ8枚（古い時代の写真の複写?）

と書かれたもので、古い写真をブローニ版ネガで複写したものらしい。これらはすでにほかの形で発見され、アーカイブ新聞にも掲載されたものであるが、東京天文台100周年記念誌資料として独立に出てきたものなので記録にとどめデジタルデータとして保管することとする。同じ写真が2組ある。



写真1



写真2



写真3

写真1は、初代東京天文台台長寺尾壽の肖像写真である。この写真は東京天文台百周年記念誌にも掲載されている。写真2、3は東京天文台の事業の一つである暦編纂の出版物を撮影したものである。同じような写真が百周年記念誌に掲載されているが別の写真である。



写真4



写真5



写真6

写真4、5は、昭和20年2月に焼失した東京天文台本館である。百周年記念誌にはこの写真は採用されていない。写真5はピンボケ写真である。写真6、7は麻布時代の東京天文台の写真で、これはよく登場するもので百周年記念誌にも掲載されている。



写真 7



写真 8

写真 8 は、本郷時代の 1878 年に設立された東京大学観象台の写真であり、4 年後には観象台は天象台と気象台に分かれている。このことが尾を引いているのか、いまだに天文台に天気のことを質問する電話があると聞いている。

東京天文台は 1878 年が初年とされており、東京天文台 100 周年記念式典は 1978 年に挙行された。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp